

ヤングケアラーの視点でケアプランを作ろう！

令和7年3月26日、高岡市ふくおか総合文化センター（Uホール）で令和6年度第3回高岡市介護支援事業者部会研修会を開催しました。91名の部会員が参加し、学びを深めました。



講師は第1回に引き続き、富山国際大学 子ども育成学部教授 相山 馨先生をお迎えし、ヤングケアラーについての概論、前回の講義の振り返りをお話していただきました。

講義のあとは、13グループに分かれて、ケアマネジャーとしてできることを個人ワークし、それをグループでディスカッションして、方向性を決めていきました。

短い時間の中ではありましたが、グループでケアプランの第1表、第2表、第3表を作成しました。ヤングケアラーの視点でケアプランを作成することで、普段は連携をしない機関や人々が多く登場していました。

学校の様子とか、情報はどうやって聴こうかな？

子どもたちの食事も確保されるためには、どんな食事の支援を入れていけばいいかね～？

認知症のおばあちゃんがいるって知られることが恥ずかしいと思ってるかもよ…

試合のある週末は、泊りのサービスを使って、部活動に集中できる環境を作ってあげたいよね～

味方の大人ってわかってもらうことが大切だね

最後に、5つのグループが発表を行い、全体での共有も行うことができました。

相山先生からも、あたたかいケアプランがたくさんできたと、講評をいただきました。

令和6年9月と今回の2回に渡り開催されたヤングケアラー研修でした。研修を通して、ヤングケアラーが特別な事ではなく、学びを深めるほど、身近にあるということに気づかされました。

この学びを実践に活かし、少しでも、あたたかい高岡市をみんなで作っていきましょう。